

大会日程

12月5日(土)

受付 9:00～17:00(1号館1階アーケード)

A会場 1102	B会場 1103	C会場 1202	D会場 1203	E会場 1209	F会場 1206
5A1 10:00～12:00 シンポジウム 「ヒューマンエラーと医療機器デザイン」 企画:平田正治	5B1 10:15～11:45 一般講演 「電子ディスプレイ」 6件 座長:外山みどり	5C1 10:15～11:45 一般講演 「生理・生体」 6件 座長:鈴木一弥	5D1 10:15～11:30 一般講演 「姿勢・動作」 5件 座長:下村義弘	10:00～11:00 卒業研究発表会 4件 座長:福田亮子	10:00～11:00 卒業研究発表会 4件 座長:鈴木哲
				11:00～12:15 卒業研究発表会 5件 座長:岩切一幸	11:00～12:15 卒業研究発表会 5件 座長:水野有希
12:10～12:50 支部委員会(1111 教室)					
13:00～13:50 支部総会					
5A2 14:00～16:00 シンポジウム 「歩行者と自転車との共生を目指して」 企画:岸田孝弥	5B2 14:00～15:45 一般講演 「介護・福祉」 7件 座長:小長谷百絵	5C2 14:00～16:00 シンポジウム 「人間工学規格とその応用—ソフトウェア・アクセシビリティ—」 企画:米村俊一	5D2 14:00～15:30 一般講演 「技能・習熟」 6件 座長:辛島光彦	14:00～15:15 卒業研究発表会 4件 座長:鳥居塚崇	14:00～15:15 卒業研究発表会 5件 座長:青木洋貴
				15:30～16:45 卒業研究発表会 4件 座長:申紅仙	15:30～16:45 卒業研究発表会 5件 座長:中西美和
5A3 16:15～17:15 一般講演 「アセスメント」 4件 座長:森博彦	5B3 16:00～17:00 一般講演 「公共空間」 4件 座長:小美濃幸司	5C3 16:15～17:15 一般講演 「心理・認知」 4件 座長:重森雅嘉	5D3 15:45～17:15 学生支援座談会 『「人間工学」を活かす就職—OB・OGを囲んで』 (広報委員会)		

懇親会 17:30～19:00(5号館2階カフェテリア)

12月6日(日)

受付 9:00～12:00(1号館1階アーケード)

A会場 1102	B会場 1103	C会場 1202	D会場 1203	E会場 1209	F会場 1206
6A1 10:00～12:00 シンポジウム 「ビジョン提案型デザイン手法の展開と実践」 企画:山崎和彦	6B1 10:00～11:45 一般講演 「医療安全」 7件 座長:橋本修左	6C1 10:00～12:00 シンポジウム 「感性とデザイン」 企画:山下利之	6D1 10:00～11:45 一般講演 「交通場面」 7件 座長:小松原明哲		
	6A2 12:30～14:00 一般講演 「感性情報」 6件 座長:梶谷哲也			6B2 12:15～13:45 一般講演 「製品設計」 6件 座長:北島洋樹	

大会プログラム 12月5日(土)午前

A 会場(1102 教室)	B 会場(1103 教室)
<p>10:00～12:00</p> <p>5A1 シンポジウム 「ヒューマンエラーと医療機器デザイン」</p> <p>【企画者・司会】 平田正治(大山人間科学研究会、東海大学)</p> <p>科学技術の進歩に伴い、最新の医療機器が次々と導入されている。しかし、これらは基本機能が同等であっても、メーカーやバージョンの違いによってその配列や操作性が異なっている。これは多重課題を抱える現場においてヒューマンエラーの一要因となっている。本シンポジウムでは、大山人間科学研究会会員が、医療機器の事例、デザインの統一化が進む航空業界の事例について報告し、エラー防止策としてデザインの規格統一を提言する。</p> <p>1. 医療機器とデザインの現状</p> <p>1) 診療放射線機器の場合 五十嵐博(群馬県立県民健康科学大学)</p> <p>2) 放射線機器の使用状況と満足度について 篠田直樹(駿河台日本大学病院)</p> <p>3) 看護の立場から 石舘美弥子(湘南短期大学)</p> <p>4) 医療工学の立場から 阿部津江子・伊藤満 (新潟医療生活協同組合木戸病院)</p> <p>2. デザインの共通化 横田友宏(エアライン機長)</p> <p>【指定討論者】 垣本由紀子(立正大学)</p>	<p>10:15～11:45</p> <p>5B1 一般講演「電子ディスプレイ」</p> <p>座長: 外山みどり((独)労働安全衛生総合研究所)</p> <p>1. 壁掛けテレビの好ましい設置高 ○三澤優貴・久保田雄大・松岡真名美・窪田悟(成蹊大学)、岸本和之・山根康邦・合志清一(シャープ)、五十嵐陽一(日立ディスプレイズ)、芳賀秀一・中枝武弘(ソニー)</p> <p>2. 液晶テレビの表示輝度と観視距離が視覚疲労に及ぼす影響 ○関根豪・今林健太・窪田悟(成蹊大学)、岸本和之・山根康邦・合志清一(シャープ)、五十嵐陽一(日立ディスプレイズ)、芳賀秀一・中枝武弘(ソニー)</p> <p>3. 多チャンネル環境下における非計画視聴のユーザーインターフェースの研究 ○玉置俊平・森博彦(東京都市大学大学院工学研究科システム情報工学専攻ヒューマン・メディア工学森研究室)</p> <p>4. 待ち時間に使用される画面インタフェースとヒトの時間感覚に関する研究 ○小山冬樹(千葉大学工学部デザイン工学科人間情報科学研究室)、岩永光一・中西美和(千葉大学大学院工学研究科デザイン科学専攻人間情報科学研究室)</p> <p>5. プレゼンテーションルームのスクリーンサイズに関する一考察—スクリーン表示文の読みやすさの観点から— ○辛島光彦・西口宏美(東海大学)</p> <p>6. 画面サイズを考慮した Web サイト設計に関する研究 ○岡田たまみ・西内信之・朴美卿・山中仁寛(首都大学東京大学院)</p>

大会プログラム 12月5日(土)午前

C 会場(1202 教室)	D 会場(1203 教室)
<p>10:15～11:45</p> <p>5C1 一般講演「生理・生体」</p> <p>座長:鈴木一弥((財)労働科学研究所)</p> <ol style="list-style-type: none"> 心拍呼吸協調が肺ガス交換効率に及ぼす影響 ○狩生咲・富田豊・牛場潤一(慶應義塾大学) 呼吸音解析システム—吸気音及び呼気音の解析方法を用いたシステムの検討— ○西倉健介(明星大学・院)、金杉成昭(明星大学・学)、亀井延明(明星大学)、亀井智子(聖路加看護大学) 虹彩の 3 次元形状を利用した生体認証に関する研究 ○高田幸奈・西内信之・朴美卿・山中仁寛(首都大学東京大学院) 遠赤外線放射シートが若年者の体温調節機能に与える影響 ○佐々木啓樹・山中仁寛・川上満幸(首都大学東京大学院システムデザイン研究科)、朴美卿(首都大学東京システムデザイン学部) 顔面冷却刺激が脈伝播時間に及ぼす影響 ○池崎亜沙美・佐野裕司(東京海洋大学)、菊地俊紀(日本大学) 足底皮膚感覚および視覚情報の操作による静止立位時姿勢制御機能の変化 ○角奈那子・下村義弘・勝浦哲夫(千葉大学大学院工学研究科デザイン科学専攻) 	<p>10:15～11:30</p> <p>5D1 一般講演「姿勢・動作」</p> <p>座長:下村義弘(千葉大学)</p> <ol style="list-style-type: none"> パーティクルフィルタを用いた作業者追跡に関する研究 ○田村崇・西内信之・朴美卿・山中仁寛(首都大学東京大学院) 長時間立位後の身体安定性低下に寄与する因子の検証 ○藤本優(国際医療福祉大学大学院修士課程理学療法分野)、勝平純司・藤沢しげ子(国際医療福祉大学保健医療学部理学療法学科) 上肢を挙上したねじ締め作業が筋骨格系負担に及ぼす影響 ○菅間敦(首都大学東京大学院)、瀬尾明彦・土井幸輝(首都大学東京) 移乗介助の作業時間を低減するスリング形状 ○望月憲之(慶應義塾大学大学院理工学研究科)、山崎信寿(慶應義塾大学理工学部) タッチパネル操作時の手による画面の遮蔽がその操作性に与える影響について ○西村崇宏(首都大学東京大学院)、瀬尾明彦・土井幸輝(首都大学東京)

大会プログラム 12月5日(土)午後1

A 会場(1102 教室)	B 会場(1103 教室)
<p>14:00～16:00</p> <p>5A2 シンポジウム 「歩行者と自転車との共生を目指して」</p> <p>【企画者・司会】岸田孝弥(中京大学)</p> <p>近年、交通事故の中で自転車対歩行者の事故が注目されるようになった。自転車の歩道通行可の標識がごく普通に見られるようになるとともに、交通事故の際の交通強者としての自転車の登場である。自転車利用者の行動について4人のシンポジストが自転車利用者のルールやマナーなどの意識面、自転車利用の際の段差などの障害、傘差し走行などの危険な乗り方、自転車道の整備等の、それぞれの立場から話題を提供して、歩行者と自転車との共生を目指して討論をしたいと考えている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自転車の安全利用を考える 岸田孝弥(中京大学) 2. 外的負荷が自転車走行に与える影響—危険性と安全性の両面からのアプローチ— 加藤麻樹(長野県短期大学) 3. 自転車走行中におけるさまざまな危険の実験的解明 植竹照雄(東京農工大学) 4. 自転車走行の安全性の確保に向けて—自転車は歩道を走行すべきか— 古倉宗治(株住信基礎研究所) 	<p>14:00～15:45</p> <p>5B2 一般講演「介護・福祉」</p> <p>座長:小長谷百絵(東京女子医科大学)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 道具や機器の操作時に痛みを伴う一時的障がい者における手の負担軽減に関する研究—負荷の少ない手の開き状態の把握— ○庄司宏明(千葉工業大学大学院工学研究科)、上野義雪(千葉工業大学) 2. 重量物挙上動作における重量と姿勢の違いが腰部負担・腹横筋に与える影響 笠井将也・田所祐介・○長谷川哲也・勝平純司・吉川幸次郎(国際医療福祉大学保健医療学部理学療法学科) 3. 腹筋の活動を賦活させる体幹装具 Trunk Solution の開発と評価 ○勝平純司(国際医療福祉大学保健医療学部理学療法学科)、吉川幸次郎(国際医療福祉大学大学院)、安井匡・堀内和禎(川村義肢株式会社)、笠井将也・田所祐介・長谷川哲也(国際医療福祉大学保健医療学部理学療法学科) 4. 錘の荷重位置が脊柱アライメントに与える影響～妊婦体験ジャケットを用いて～ ○犬塚ふみ・井上真秀・太田智子・小島賢司・山藤麻里・中嶋咲弥・宮澤裕之・安田欣司・勝平純司・藤沢しげ子(国際医療福祉大学保健医療学部理学療法学科) 5. 介護用シャワーベットの使用における人体の加温について 瀧岡司(北陸職業能力開発大学校応用課程生産電子システム技術科) 6. 頭部の荷重支持が入浴中の腰部負担に与える影響 ○尾滝啓介(千葉大学大学院工学研究科)工藤亮・永田まゆみ・白井康裕(INAX 総合技術研究所空間技術研究室)、下村義弘・勝浦哲夫(千葉大学大学院工学研究科) 7. 訪問介護勤務表作成支援システム構築のための基礎調査 ○足立幸子・渋谷知子・福島恵美・池上敦子(成蹊大学)

大会プログラム 12月5日(土)午後1

C 会場(1202 教室)	D 会場(1203 教室)
<p>14:00～16:00</p> <p>5C2 シンポジウム 「人間工学規格とその応用 —ソフトウェア・アクセシビリティ—」</p> <p>【企画者】 米村俊一(NTTサイバーソリューション研究所)</p> <p>人間工学に関わる重要な規格として、アクセシビリティ関連規格が目ざされている。JIS X8341 シリーズをはじめ、ISO/IEC Guide 71 や ISO 9241-20 など日本が提案する国際標準も制定されている。このセッションでは、ICT 技術を考える上で必要となるソフトウェア・アクセシビリティに関わる規格群、X8341 シリーズについて概要および応用例を紹介するとともに、今後のアクセシビリティ関連規格の展望について紹介する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ソフトウェア・アクセシビリティ規格の概要—JIS X8341 シリーズの新規格— 米村俊一(JIS 分科会主査/NTT) 2. 情報処理装置のアクセシビリティ/JIS X8341-2 野村茂豊(X8341-2 原案作成委員/日立) 3. ウェブコンテンツのアクセシビリティ/JIS X8341-3 梅垣正宏(日本障害者協議会情報通信委員/ユーディット) 4. 電気通信機器のアクセシビリティ指針/JIS X8341-4 水島昌英(X8341-4 原案作成委員/NTT) 5. 事務機器のアクセシビリティ設計指針/JIS X8341-5 酒井英典(X8341-5 原案作成委員/ビジネス機械・情報システム産業協会) 6. アクセシビリティのビジネスへの応用—アクセシビリティに配慮したウェブサイト構築を通して— 朝井大介(X8341-6 原案作成委員/NTT) 7. 人間工学規格と今後の展開— ISO/TC159 および国内対策委員会(JENC)の活動— 横井孝志(人間工学会JENC委員長/産総研) 	<p>14:00～15:30</p> <p>5D2 一般講演「技能・習熟」</p> <p>座長:辛島光彦(東海大学)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指先動作の学習定着・睡眠効果に関する研究— 日中仮眠とイメージトレーニングを用いて— ○大澤文明・下村義弘・勝浦哲夫(千葉大学大学院工学研究科デザイン科学専攻人間生活工学研究室) 2. キーストローク時の手指動作に関する研究 ○赤須春香・西内信行・朴美卿・山中仁寛(首都大学東京大学院) 3. レンチ作業における筋活動の変化 ○及川久之(首都大学東京大学院)、瀬尾明彦(首都大学東京) 4. ものづくりにおける基本的技能の分析 ○鈴木孝誌(千葉大学大学院工学研究科)、橋本宣慶(青山学院大学理工学部)、加藤秀雄・樋口静一・大川一也(千葉大学大学院工学研究科) 5. ディスプレイの情報提示に関する基礎的検討 ○門間政亮(山形大学大学院社会文化システム研究科)、本多薫(山形大学人文学部) 6. マニュアル媒体の違いが作業時の心理に与える影響 ○秋葉知壽・岡田有策(慶應義塾大学)

大会プログラム 12月5日(土)午後2

A 会場(1102 教室)	B 会場(1103 教室)
<p>16:15～17:15</p> <p>5A3 一般講演「アセスメント」</p> <p>座長: 森博彦(東京都市大学)</p> <ol style="list-style-type: none"> 疼痛測定器を用いた座り心地の定量評価に関する研究 ○吉岡憲昭(工学院大学大学院工学研究科)、堀内邦雄(工学院大学グローバルエンジニアリング学部) 人に関する様々なデータベースとコンピュータを活用した商品開発手法 ○石本明生・本多信夫((株)HALデザイン研究所)、山岡俊樹(和歌山大学) 多国手話を参考にしたユニバーサルコミュニケーションのためのコンテキスト ○細野直恒(沖コンサルティングソリューションズ株式会社)、井上裕光(千葉県立衛生短期大学)、中園薫(日本電信電話株式会社NTT未来ねっと研究所)、長嶋祐二(工学院大学) サウンドマスキングによるオープンスペースタイプ教室の音環境改善 ○須賀一民・富田豊(慶應義塾大学理工学部) 	<p>16:00～17:00</p> <p>5B3 一般講演「公共空間」</p> <p>座長: 小美濃幸司((財)鉄道総合技術研究所)</p> <ol style="list-style-type: none"> 震災被災者への情報提供サービス—無線LANを用いた自律分散システム— ○高橋祐一(東京理科大学)、小林大二(千歳科学技術大学)、山本栄(東京理科大学) 効果的な公共標識メッセージに関する研究 ○井坂 秀之(早稲田大学大学院創造理工学研究科経営システム工学専攻)、小松原 明哲(早稲田大学理工学術院) 色覚異常をめぐる状況と公共交通環境の対応 ○三澤拓矢(環境プロジェクト monacca チーム)、宇賀神博(武蔵野大学) 名古屋市営地下鉄の快適性について ○吉本直美(神奈川大学人間科学研究科博士後期課程)、和氣典二(神奈川大学視科学研究所)、和氣洋美(神奈川大学人間科学部)、向井希宏(中京大学心理学部)、藤田晃弘(名城大学建設システム工学科)、三田武(日建設計シビル)

大会プログラム 12月5日(土)午後2

C 会場(1202 教室)	D 会場(1203 教室)
<p>16:15～17:15</p> <p>5C3 一般講演「心理・認知」</p> <p>座長:重森雅嘉((財)鉄道総合技術研究所)</p> <p>1. モバイル機器での音声情報における発話スタイルと情報受容度の分析 ○下畑光夫・三樹弘之(沖電気工業)、細野直恒(沖コンサルティングソリューション)、越塚登・坂村健(東京大学)</p> <p>2. 登場人物についての心の推測における処理資源の効果 ○瀧澤純(首都大学東京大学院人文科学研究科)、山下利之(首都大学東京)</p> <p>3. 視触覚を用いた空間記憶タスクが脳活動に及ぼす影響 ○齋藤祐太・下村義弘・勝浦哲夫(千葉大学大学院工学研究科デザイン科学専攻)</p> <p>4. 脳波解析による職務拡大・職務充実にに関する研究 ○米山靖人・山中仁寛・川上満幸(首都大学東京大学院システムデザイン研究科)、朴美卿(首都大学東京システムデザイン学部)</p>	<p>15:45～17:15</p> <p>5D3 学生支援座談会</p> <p>学生と企業の懸け橋プロジェクト—『人間工学』を活かす就職(OB・OGを囲んで)—</p> <p>【企画者】松田文子(日本人間工学会広報委員会) / 関東支部 39 回大会共同企画</p> <p>広報委員会では、継続性のあるプロジェクトとして、「学生」と「企業」が出会う機会を設けるべく「学生と企業の懸け橋プロジェクト」を展開している。今回は、その第4弾となる。人間工学を学んでも、人間工学を活かせる職業に就ける人は、残念ながらあまり多いとはいえない。これは、企業の側にニーズがないという事情と解釈されがちだが、人間工学を理解する人材を雇用し、活用している企業も存在する。広報委員会では、企業へ就職して人間工学を活かしている若手企業人に、学生時代に勉強したことや、現在の仕事と人間工学の関わりを、就職を控えた学生に話していただく機会として、座談会を企画した。</p> <p>【協力者】 吉武良治・大内啓子・岩切一幸・榎原毅・酒井一博・下村義弘(日本人間工学会広報委員会)、企業6名程度</p>

大会プログラム 12月6日(日)午前

A 会場(1102 教室)	B 会場(1103 教室)
<p>10:00～12:00</p> <p>6A1 シンポジウム 「ビジョン提案型デザイン手法 の展開と実践」</p> <p>【企画者】山崎和彦(千葉工業大学)</p> <p>アーゴデザイン部会のワーキンググループでは、これからのユニバーサルデザインを考慮した、ビジョン提案型手法に関する研究・実践活動を継続的に推進している。ここでは、ビジョン提案型手法における「発想、目標設定、評価」の手法の解説、ビジョン提案型手法のSIGやワークショップの概要、ビジョン提案型手法の事例および、今後の展開について発表する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ビジョン提案型デザイン手法の提案 山崎和彦(千葉工業大学) 2. ビジョン提案型デザイン手法における目標設定と発想 郷健太郎(山梨大学) 3. ビジョン提案型デザイン手法における評価 柳田宏治(倉敷芸術科学大学) 4. ビジョン提案型デザイン手法の事例実践と改善—デザイン系大学における事例実践とそれで得た気づきによる手法の改善— 上田義弘(富士通デザイン株式会社) 5. ビジョン提案型デザイン手法の教育での実践における課題と改善 安藤昌也(産業技術大学院大学) 6. ビジョン提案型デザイン手法の展開～SIG 活動とワークショップ～ 早川誠二(株式会社リコー) 7. ビジョン提案型デザイン手法の今後の展開 高橋克実(株式会社ホロンクリエイト) 	<p>10:00～11:45</p> <p>6B1 一般講演「医療安全」</p> <p>座長: 橋本修左(武蔵野大学)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 胃瘻からの半固形栄養剤を簡便で安全に注入できるデバイス開発に向けて 小長谷百絵・〇坂井志麻(東京女子医科大学看護学部)、国澤尚子・鈴木玲子(埼玉県立大学保健医療福祉学部)、小川鑛一(元東京電機大学) 2. 転倒、転落に関わる要因からの転倒者判定に関する研究 〇佐藤小百合(埼玉セントラル病院)、高橋英司(埼玉ロイヤルケアセンター)、百瀬治(ウエストケアセンター)、清水みどり(埼玉みさと総合リハビリテーション病院)、松澤良平(春日部ロイヤルケアセンター)、岡田有策・秋吉祐太・深谷寛(慶應義塾大学) 3. セルフチェックシートから導く、リスクマネジャー活動の実際 〇鈴木幸子(IMSグループ三愛会総合病院看護部)、横溝あずさ(慶應義塾大学大学院理工学研究科)、岡田有策(慶應義塾大学理工学部) 4. 文字形状に着目した医薬品類似名称指標の提案(第一報) 〇今井貴広・鍋田啓太・木村昌臣・大倉典子(芝浦工業大学)、土屋文人(東京医科歯科大学) 5. 医薬品外箱データベースの構築と解析—データベースの属性の決定— 〇村岡宏紀・泉谷聡・木村昌臣・大倉典子(芝浦工業大学)、土屋文人(東京医科歯科大学歯学部付属病院) 6. ヒューマンエラーを防止するための薬剤の表示方法の検討(第15報)—PTPシートの外観類似に関するアンケートの解析(その2) 裏面の属性値の解析— 〇大槻宜孝・泉谷聡・木村昌臣・大倉典子(芝浦工業大学)、高池敏男(アストラゼネカ株式会社)、土屋文人(東京医科歯科大学歯学部附属病院薬剤部) 7. 添付文書情報における表構造からの頻出内容の抽出(第一報) 〇石田啓継・鍋田啓太・木村昌臣・大倉典子(芝浦工業大学)、土屋文人(東京医科歯科大学)

大会プログラム 12月6日(日)午前

C 会場(1202 教室)	D 会場(1203 教室)
<p>10:00～12:00</p> <p>6C1 シンポジウム</p> <p>「感性とデザイン」</p> <p>【企画者・司会】 山下利之(首都大学東京人文科学研究科)</p> <p>"感性"が工学における一つの重要なキーワードとなってきた。"感性"は、"ひらめき"、"直感"、"快・不快"、"嗜好"、"好奇心"、"創造"の源であり、そのアプローチとして感性評価、感性計測などが展開されている。特にデザインはデザイナーの優れた感性が必要である。本シンポジウムでは、優れた研究者であると同時にデザイナーとしても活躍されている先生方を話題提供者として迎え、感性とデザインに関して論じる。</p> <p>【話題提供者】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 姿勢を意識させるインナーウェアの着用効果 廣川妙子(文化女子大学服装学部) 2. センシビリティなグラフィックデザインの一断面 工藤強勝(首都大学東京システムデザイン学部インダストリアルデザインコース) 3. 子供たちと地域をつなぐ教育ツールのデザイン 工藤芳彰 (拓殖大学工学部工業デザイン学科) <p>【指定討論者】 市原茂(首都大学東京人文科学研究科)</p>	<p>10:00～11:45</p> <p>6D1 一般講演「交通場面」</p> <p>座長:小松原明哲(早稲田大学)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 拡張現実を用いた道路標識の提示方法の提案 ○田淵祐介・森博彦(東京都市大学大学院工学研究科システム情報工学専攻ヒューマン・メディア工学森研究室) 2. 情報提供のための音の物理特性が方向や遠近感の知覚に与える影響 ○露木章史・横田佳代子・岩本太郎・石橋基範(マツダ株式会社) 3. オートマチック車のセレクト操作感評価に関する一考察 ○鈴木将也(静岡大学大学院工学研究科)、末長修(静岡大学工学部)、澤田英宣・森俊一・増田達史・曾根原努(スズキ(株)) 4. タッチパネルを用いたハザード発見遅れの診断装置の開発 ○島崎敢・石田敏郎(早稲田大学人間科学学術院) 5. 発話音声に対する母音および子音の影響に関する調査 ○佐藤清・塩見格一((独)電子航法研究所)、鈴木綾子・澤貢((財)鉄道総合技術研究所)、高橋征三・杉山哲司((学)日本女子大学) 6. 発話音声から算出する覚醒度評価指標値の誤差と信頼性 塩見格一(電子航法研究所) 7. 事故のグループ懇談によるリスク情報の共有と安全意識向上 重森雅嘉(鉄道総合技術研究所)

大会プログラム 12月6日(日)午後

A 会場(1102 教室)	B 会場(1103 教室)
<p>12:30～14:00</p> <p>6A2 一般講演「感性情報」</p> <p>座長:梶谷哲也(文化女子大学)</p> <ol style="list-style-type: none"> 音楽音と色のクロスモーダル知覚—弁別課題の反応時間とエラー数にみる複合刺激の効果— ○武千鶴(首都大学東京大学院)、山下利之(首都大学東京) 視覚と温覚によるマルチモーダルな情報提示の試み 飯塚重善(神奈川大学) サイン音のための聴覚刺激による脳の感情応答の一検討 ○後藤達也・志村諒・遠藤順一・宮地泰造(東海大学) ピエゾフィルムを用いたヒトの触感の推定—皮膚振動検出のためのシステムの開発— ○高橋謙介・下村義弘・勝浦哲夫(千葉大学大学院工学研究科) スプレー缶“らしさ”の評価と把持特性について ○笠松慶子(首都大学東京)、神宮英夫(金沢工業大学) 触れるということを用いた実世界インタラクションの提案 ○下平卓也(武蔵工業大学大学院工学研究科システム情報工学専攻ヒューマン・メディア工学森研究室)、森博彦(東京都市大学大学院工学研究科システム情報工学専攻ヒューマン・メディア工学森研究室) 	<p>12:15～13:45</p> <p>6B2 一般講演「製品設計」</p> <p>座長:北島洋樹((財)労働科学研究所)</p> <ol style="list-style-type: none"> デジタルカメラの最適ボタン配置に関する人間工学的研究 ○齋藤哲生(千葉大学大学院工学研究科)、飯島靖博・畑中晴雄(三洋電機株式会社)、下村義弘・勝浦哲夫(千葉大学大学院工学研究科) 運びやすいキャリーバッグの設計ガイドライン—運搬者とフレームの位置関係に着目して— 若生然太(早稲田大学大学院創造理工学研究科経営システム工学専攻小松原研究室)・小松原明哲(早稲田大学) 手首式血圧計の腕帯圧力分布に関する研究 ○彭春栄・下村義弘・勝浦哲夫(千葉大学大学院工学研究科) 視線解析によるスクリーンキーボードの入力方法の改善 ○新開大樹・山口卓哉・永井義満・石津昌平(青山学院大学大学院) 医用超音波画像診断装置の操作における人間工学的研究～医用超音波画像診断装置の筋負担比較～ ○鈴木浩之・齋藤隆由(アロカ株式会社デザインセンター)、下村義弘・勝浦哲夫(千葉大学大学院工学研究科) 医用超音波画像診断装置の操作における人間工学的研究～新しい探触子形状の提案～ ○岡庭美紀(千葉大学工学部デザイン工学科意匠系人間生活工学研究室)、鈴木浩之・齋藤隆由(アロカ株式会社デザインセンター)、下村義弘・勝浦哲夫(千葉大学大学院工学研究科)